

## 公益社団法人日本語教育学会 2022 年度事業報告

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

### 《重点項目》

①日本語教育の関係者及び関心をもつ層に向け広く発信するために、学会のウェブサイトの改修に引き続き取り組み、対外的発信力、広報力の強化を図る。

→ウェブサイトの改修が完了し、10月3日より新ウェブサイトを開した。新ウェブサイト公開後6ヶ月間を試行運用期間とし、コンテンツの追加とともに必要な改修を行った。

②会員の多様な研究や実践の質的向上と相互交流の促進を目指し、オンラインによる交流の場の充実を図るとともに、社会的研究課題・社会的課題への取り組みを継続し、その位置づけのために日本語教育学の領域の構造化に着手する。

→社会的研究課題及び社会的課題への取り組みを継続してきたが、各委員会所掌事業におけるテーマの連動とサイクルについては再考をすべく、第二次中期計画の中間評価に併せ、各委員会にアンケートを行った。その結果を受け、第三次中期計画策定に向け、社会的研究課題・社会的課題を再設定することとした。また、会長の諮問機関として日本語教育学の構造化に関するワーキンググループを置き、日本語教育学の領域の構造化の検討を進め、その結果を報告書にまとめた。

③第二次中期計画の2年目として、財政・人力の観点から実施状況と計画の見直しを行い、事業全体の精査・整理に向けて検討する。

→全委員会委員長会議(10月23日開催)において各委員会委員長に中間評価の実施を依頼し、その結果を「第二次中期計画(2021年～2024年度)中間評価 とりまとめ」にまとめた。これを受け、第二次中期計画の一部に変更を加えた「第二次中期計画 2021-2024 一部改定版」を作成し、理事会(3月26日開催)にて承認を得た。全委員会委員長会議(3月31日開催)において、これに基づき2023-2024年度の事業を運営することを報告した。

## 1. 研究・研修

### (1) 大会事業(所掌:大会委員会)

春季・秋季の各大会を次の通り行った。

#### 7. 春季大会

(7) 開催日:2022年5月21日(土)、5月22日(日)

(イ) 会場:オンライン開催

(ウ) 参加費:<事前登録>会員3,500円(学生証あり2,000円)  
<当日申込>一律5,000円

(エ) 参加者数:938名

#### 4. 秋季大会

(7) 開催日:2022年11月26日(土)、11月27日(日)

(イ) 会場:オンライン開催

(ウ) 参加費：＜事前登録＞会員 3,500 円（学生証あり 2,000 円）  
＜当日申込＞一律 5,000 円

(オ) 参加者数：988 名

ウ. 大会委員会会議

大会委員会会議を、4 月 9 日、8 月 11 日、10 月 8 日、2 月 13 日に開催した。

(2) 支部活動事業（所掌：支部活動委員会）

7. 支部集会

支部集会を次の通り行った。

(7) 第 1 回支部集会（九州・沖縄支部）：

2022 年 7 月 2 日（土）、筑紫女学園大学（福岡県太宰府市）、「研究発表（口頭）」、「交流ひろば」、講演「内容言語統合型学習（CLIL）教育実践入門—日本語で PEACE』に基づいて—」（講師：奥野由紀子氏）、参加者数：64 名。

(イ) 第 2 回支部集会（北海道支部）：

2022 年 7 月 9 日（土）、北海道大学（北海道札幌市）、「研究発表（ポスター）」、「交流ひろば」、ビブリオバトル「お勧めの教材を紹介し合おう」、参加者数：29 名。

(ウ) 第 3 回支部集会（東北支部）：

2022 年 12 月 10 日（土）、オンライン開催、「交流ひろば」、テーマは「アフターコロナにおける地域日本語教育の展望と課題—東北の地域特性をふまえて」、講演「オンライン学習支援と地域連携—学校に通学していない海外ルーツの子への進学支援実践」（講師：朝倉みさき氏・三田眞理子氏）、「対話のひろば」、参加者数：37 名。

(エ) 第 4 回支部集会（中国支部）：

2023 年 2 月 4 日（土）、オンライン開催、「研究発表（口頭）」、講演「ピアラーニングの理論と実践～教室での実践に向けて～」（講師：池田玲子氏）、参加者数：41 名。

(オ) 第 5 回支部集会（関西支部）：

2023 年 3 月 18 日（土）、オンライン開催、「研究発表（ポスター）」、ワークショップ「日本語教育の参照枠についての理解と実践に向けて」（講師：松井孝浩氏・奥村三菜子氏）、参加者数：71 名。

4. 支部活動

支部活動を次の通り行った。

(7) 四国支部活動：

2022 年 6 月 12 日（日）、オンライン開催、2022 年度春季大会参加報告会、参加者数：25 名。

(イ) 関東支部活動：

2022 年 8 月 20 日（土）、オンライン開催、テーマは「つながる、地域の日本語教育・支援」、講演「日本語にこだわらない日本語教育のススメ」（講師：福村真紀子氏）、団体による交流・意見交換会、参加者数：49 名。

(ウ) 四国支部活動：

2022 年 9 月 3 日（土）、オンライン開催、テーマは「四国の日本語教育・支援人材養成～地域とのつながりを求めて」、講演「大学院における日本語教育人材養成と地域との連携」（講師：田中大輝氏）、各県の事例紹介・報告、参加者数：95 名。

- (エ) 中部支部活動：
 

2022年11月15日(土)、愛知淑徳大学(愛知県名古屋市)、ワークショップ「日本語教育×音読劇—MAKING WORDS COME ALIVE THROUGH READERS THEATRE—」(講師：浅野享三氏)、参加者数：23名。
- (オ) 秋季大会：
 

2022年11月26日(土)に「交流ひろば」(14出展)、11月27日(日)「地域発信企画」(5出展)を秋季大会内(オンライン開催)で実施した。参加者数は各出展により約30~150名。
- (カ) 四国支部活動：
 

2022年12月16日(金)、オンライン開催、2022年度秋季大会参加報告会、参加者数：39名。
- (キ) 北陸支部活動：
 

2023年2月19日(日)、オンライン開催、講演「日本語教師としてのこれからのキャリアを考えよう」(講師：河崎千鶴氏)、「日本語教師のキャリア形成の事例」(佐藤綾氏・片野洋平氏・松尾憲暁氏)、参加者数：37名。
- ウ. 支部活動委員会会議
 

支部活動委員会会議を、5月21日、12月4日に開催した。

(3) チャレンジ支援事業(所掌：チャレンジ支援委員会)

年齢や経験、業績にかかわらず、新規に日本語教育関連の研究や実践に取り組む人に対する支援・育成につき以下の事業を行った。

- 7. <はじめて系>日本語教育初心者向けの催しを企画・実施した。
  - (ア) 大会会場で、はじめて大会に参加する方に向け、以下を実施した。
 

春季および秋季大会で、はじめて大会に参加する方に向け、オリエンテーション「わかばさんいらっしゃい」をオンラインで行った。春季大会は、事前動画閲覧374回、当日のZoom参加者15名。秋季大会は事前動画閲覧281回、当日のZoom参加者7名。
  - (イ) 大会発表応募締切にあわせて、はじめて発表応募をする方に向け、オンラインで以下を実施した。
    - a. 研究や発表のアイデアを話し合う「おせっかい侍の発表応募支援 Step1：大会・支部集会 発表のタネ探し—現場の課題や実践を大会・支部集会発表につなげよう—」、2022年9月11日(日)、参加者数14名。2023年2月26日(日)、参加者数10名。
    - b. 実際の発表応募書類作成に向けての「おせっかい侍の発表応募支援 Step2：セミナー・個別相談会—初めて実践を発信しようと思った人への指南—」、2022年5月29日(日)、参加者数9名。11月13日(日)、参加者数4名。
    - c. 発表応募要旨に事前アドバイスをする「おせっかい侍の発表応募支援 Step3：発表応募原稿チェック—初めて実践を発表しようと思った人への指南—」(メールによる書面やりとり)、2022年6月1日(水)~15日(水)、参加者1名。2022年12月1日(水)~15日(水)、参加者1名。
- 4. <これから系>日本語教育関係者にとっての新情報を提供する催し、明日のための学びの場(通称：あしたば)「社会的公正教育について学ぶ—日本語教師の無自覚な特権に気づくために—」をオンラインで実施した。2022年8月28日(日)、

参加者数 61 名。

- ウ. <キャリア系>日本語教育をキャリアとして考える方に向けた催しを実施した。
  - (7) 春季および秋季大会で、先輩との対話の場「ぷらさ da わかば」をオンラインで実施した。春季大会参加者数 17 名、秋季大会参加者数 8 名。
  - (イ) 「キャリアパスフォーラム第 3 弾—海外の日本語教育現場（北米編）—」をオンラインで実施した。2023 年 2 月 4 日（土）、参加者数 51 名。
- イ. チャレンジ支援委員会会議  
チャレンジ支援委員会会議を、5 月 6 日、11 月 11 日、1 月 13 日に開催した。

(4) 表彰事業（所掌：表彰委員会・授賞候補選考委員会・学会誌委員会・大会委員会）

- 7. 2021 年度各賞の授与
  - (7) 日本語教育学会賞を神吉宇一氏に、奨励賞を小口悠紀子氏に、功労賞を上野田鶴子氏に授与した。
  - (イ) 『日本語教育』論文賞を以下の論文に授与した。
    - a. 「モンは日本語条件文の理解を促進するのか—自己ペース読文実験を用いた文処理過程から」（執筆：市江愛氏、掲載号：178 号）
    - b. 「第二言語としての日本語語彙量と漢字力—第一言語と学習期間の影響」（執筆：松下達彦氏・佐藤尚子氏・笹尾洋介氏・田島ますみ氏・橋本美香氏、掲載号：178 号）
  - (ウ) 学会活動貢献賞の授与を以下の会員に授与した。  
石井恵理子氏、小野正樹氏、神吉宇一氏、金孝卿氏、鄭恵先氏、中河和子氏
- 4. 2022 年度各賞の選考
  - (7) 第 1 回臨時理事会で、各賞授賞候補選考委員会委員が承認された。
  - (イ) 9 月 1 日、学会賞・奨励賞・功労賞表彰規程第 7 条に規定された推薦権を有する会員（理事、監事、代議員、すべての委員、授賞の翌年度から 4 年間の学会賞・奨励賞・功労賞の授賞者）に授賞候補推薦依頼を行った。
  - (ウ) 第 6 回常任理事会で、『日本語教育』論文賞の第 1 選考部会部会員が承認された。
  - (エ) 12 月 25 日の締切までに推薦を受けた候補者について 2 月 9 日の授賞候補選考委員会で審議し、学会賞授賞候補者 1 名、奨励賞授賞候補者 1 名、功労賞授賞候補者 1 名を選考した。第 3 回理事会で、学会賞受賞者として池田玲子氏、奨励賞受賞者として南浦涼介氏、功労賞受賞者として故・奥田純子氏を決定した。
  - (オ) 12 月に選考部会による論文賞の第 1 次選考を行い、推薦を受けた論文 4 編について、2 月 9 日の授賞候補選考委員会で審議し、1 編の論文を選考した。第 3 回理事会で、受賞論文として以下の 1 編の論文を決定した。  
「人称表現における複数性と不定性—「人々」の誤用をめぐる—」〔研究論文〕（執筆：牧彩花氏、掲載号：181 号）
  - (カ) 学会活動貢献賞表彰規程第 5 条の規定により、表彰委員会から推薦を受けた候補者について、2 月 9 日の授賞候補選考委員会で審議し、学会活動貢献賞授賞候補者 2 名を選考した。第 3 回理事会で、学会活動貢献賞受賞者として 2 名を決定した。
- ウ. 表彰委員会会議  
表彰委員会会議を 4 月 11 日、11 月 14 日に開催した。

- (5) 研修講座の実施（所掌：執行役員・常任理事）  
宮地裕基金人材育成研修講座事業を立ち上げ、当研修講座の募集を行い、採択講座（3件）を決定した。

## 2. 調査研究

- (1) 学会誌事業（所掌：学会誌委員会）
7. 学会誌『日本語教育』（電子版・冊子版）の発行（所掌：学会誌委員会）  
本年度刊行済み学会誌は以下のとおりである。
- (ア) 181号：4月25日発行。寄稿論文5編、研究論文2編、調査報告1編。129頁。
- (イ) 182号：8月25日発行。寄稿論文1編、研究論文3編、調査報告3編。112頁。
- (ウ) 183号：12月25日発行。調査報告2編、実践報告2編。69頁。
4. 2008年度および2020年度発行の学会誌『日本語教育』掲載論文をJ-Stageで公開した。
5. 2021年度『日本語教育』論文賞受賞論文の概要紹介（英語版）をウェブサイトで公開した。
6. 新ウェブサイトワーキンググループによる学会ウェブサイト上での学会誌掲載論文一覧の公開準備に協力した。
7. 学会誌委員会会議  
学会誌委員会会議を7月9日、11月12日、3月11日に開催した。
- (2) 調査研究推進事業（所掌：調査研究推進委員会）
7. 春季大会で開催する一般公開プログラム「日本語から広がるライフキャリア形成—世界を、日本語と生きる—」を企画・実施した。参加者数461名。
4. 秋季大会会場で研究倫理・科研申請アドバイスセミナーを企画・実施した。参加者数27名。
5. 樹形図ワークショップ：「2022年度版日本語教育の樹形図」を使って—「日本語教育の参照枠」による教育現場への影響と変化を考える」（3月25日）を企画・実施した。参加者数24名。
6. 調査研究推進委員会会議  
調査研究推進委員会会議を7月5日、12月6日に開催した。
- (3) 社会啓発事業（所掌：社会啓発委員会）
7. 情報の提供・交流として、(ア)～(ウ)を本学会ウェブサイト上での公開に協力した。
- (ア) 文化庁の「つながるひろがる にほんごでの暮らし」ウクライナ語・ロシア語追加について。
- (イ) 文化庁の「つながるひろがる にほんごでの暮らし」に関するアンケート実施について。
- (ウ) 日本語教育推進議員連盟第16回・第17回総会の資料
4. 社会的発信として、令和4年12月21日付の日本学術会議の声明「内閣府『日本学術会議の在り方についての方針』（令和4年12月6日）について再考を求

- めます」に関する日本語教育学会の立場表明をウェブサイトで発表した。
- ウ. 秋季大会において、一般公開プログラム「外国につながる子どもの高等学校における学びの環境を考える」を行った。参加者数は617名。
  - エ. 動画配信事業 NKG TV「シリーズ 日本語教育の参照枠とCEFR」において、下記4本の動画を配信した。
    - (ア) 第1回 日本語教育の参照枠をめぐる動きと課題
    - (イ) 第2回 誤解と的はずれの批判から考えるCEFRとCEFR補遺版の最重要ポイント
    - (ウ) 第3回 CEFRと言語教育／日本語教育の在り方
    - (エ) 第4回 新制度と「日本語教育の参照枠」～現場はどう考える？～
  - オ. 寄附金活動：寄附金募集サイトCANPAN利用にむけ準備を進めた。
- (4) 受託事業（所掌：ア.とイ.は文化庁委託事業特別委員会、ウ.はBJTビジネス日本語能力テスト特別委員会）
- ア. 文化庁委託事業「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」【初任】【中堅】について、申請に基づき事業を実施した。
  - イ. 文化庁委託事業「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業」について申請に基づき事業を実施した。
  - ウ. 公益財団法人日本漢字能力検定協会が実施しているBJTビジネス日本語能力テスト事業に関し、同協会からの事業の委託を受け、テストモニターおよび調査研究業務を行った。
- (5) 「日本語教育学の構造化」ワーキンググループ（所掌：会長・執行役員所掌）  
会長の諮問機関として「日本語教育学の構造化」ワーキンググループを立ち上げた。その成果を報告書にまとめ会長へ答申した。
- (6) 受託事業成果活用（所掌：文部科学省委託事業成果活用特別委員会）  
本会が受託した文部科学省委託「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」の受託業務終了を受け、本会の研究・教育実践の発展及び社会的貢献をするために、同事業の調査で得られた資料や実践成果の分析・検討・公開を行っている。
3. 情報交流事業
- (1) 広報事業（所掌：広報委員会）
- ア. ウェブサイトの管理・運営  
不特定多数向けのウェブサイトとして運営をし、多様なユーザーに対しそれぞれのニーズにあったコンテンツを提供しつつ、ユーザーの拡大をめざし、新ウェブサイト構築ワーキンググループと連携を取りながら、ウェブサイトの改修を行った。
  - イ. 各委員会と連携し、学会ウェブサイト、学会メールマガジン、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブを活用した広報活動を展開した。
  - ウ. 広報委員会会議  
広報委員会会議を6月2日、7月14日、10月12日、12月18日に開催した。
4. 連携推進事業

- (1) 国際連携事業（所掌：国際連携委員会）
- ア. 世界 12 か国・地域の学会で構成する「日本語教育グローバル・ネットワーク (GN)」事務局としての役割を引き続き担い、GN の活動を推進した。
  - イ. GN 代表者会議を 5 月 15 日、12 月 22 日開催した。
  - ウ. GN プロジェクト「グローバルにつながるオンライン日本語教育シリーズ」の実施を促進するため、国際連携委員会主催のイベントの企画・準備を行った。
  - エ. GN ウェブサイトの管理・運営を行った。
  - オ. 2024 年度実施予定の「日本語教育国際研究大会 米国・カナダ」および現在 GN 代表者会議で開催の時期や可能性を協議中の日本語教育国際研究大会に関し、引き続き協議し、開催の準備に協力した。
  - カ. 「つながるオンライン日本語教育シリーズ」第 10 弾「世界中の日本語教育関係者のためのオンライン交流会」を 3 月 25 日（土）に開催した。参加者数：200 名。  
終了後には尚友倶楽部への報告会・親睦会を行った
  - キ. 「日本語教育グローバル人材奨励プログラム」を実施し、7 名の応募者への助成を決定した。
  - ク. 国際連携委員会会議  
国際連携委員会会議を、6 月 5 日、9 月 17 日、10 月 8 日、12 月 9 日、12 月 26 日に開催した。

- (2) 連携協力事業（所掌：連携協力委員会）
- ア. 言語系学会連合  
言語系学会連合（加盟 37 学会）の活動に幹事学会として参加し協力した。5 月 29 日に運営委員会、7 月 17 日に意見交換会を開催した。
  - イ. Net-J  
Net-J（当学会他 6 学会・研究会が加盟）の活動に参加協力し、互いの情報交流や情報共有、連携を推進する。また、5 月 21 日に開催した春季大会で「Net-J 研究会紹介ブース」を設置し、参加した各加盟団体による説明会等を実施した。
  - ウ. 日本語教育関係機関・団体との協力  
日本語教育関係機関・団体の事業に対し要請に応じて後援等付与の協力を行った。

## 5. 会務運営

### (1) 会員の状況

2023 年 3 月 31 日の会員数は下表のとおり。

会員種別	普通会員 (個人)	普通会員 (学生)	普通会員 (団体)	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)	名誉会員	計
国内	2,987	159	42	7	50	1	3,246
海外	259	4	2	1	1	0	267
計	3,246	163	44	8	51	1	3,513

### (2) 代議員総会・理事会

- ア. 代議員総会の開催  
通常総会（5 月 22 日にオンラインにより開催）  
第 1 号議案 2021 年度事業報告及び決算報告の承認について

第2号議案 定款の一部改定の承認について

〔報告事項〕

- (1) 2022年度事業計画及び予算について
- (2) 2021年度各賞授賞について

4. 理事会の開催

第1回理事会（5月8日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 代議員総会の開催について
- ② 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告について
- ③ 2021年度事業報告について
- ④ 2021年度決算報告について
- ⑤ 研究倫理規程の改定について
- ⑥ 定款の一部改定について
- ⑦ 大会若手優秀発表賞表彰規程の改定について
- ⑧ 2022年度授賞候補選考委員会委員候補者の選出について
- ⑨ BJT ビジネス日本語能力テスト特別委員会委員候補の追加について
- ⑩ 理事の欠員について
- ⑪ コンプライアンス・ワーキンググループの設置について
- ⑫ 広報委員会委員の増員及びそれに伴う設置運営規程の改定について
- ⑬ 理事選出手続きに関する規程の改定について

〔報告事項〕

- ① 大会サポーターの募集について
- ② J-STAGEでの学会誌『日本語教育』2008年度以前の掲載論文公開について
- ③ 日本語教育学の構造化に関するワーキンググループについて
- ④ 全委員会委員長会議設置運営要領について
- ⑤ 寄附金事業について

第2回理事会（12月25日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022～2023年度代議員・理事改選にかかる委員候補者の選定等について
- ② 委員公募の選考結果について
- ③ 日本学術会議会員・連携会員の選考対象に関する情報提供について
- ④ 謝金規程の改定について
- ⑤ 旅費規程の改定について
- ⑥ 学会賞・奨励賞・功労賞表彰規程の改定について
- ⑦ 『日本語教育』論文賞表彰規程の改定について
- ⑧ 学会活動貢献賞表彰規程の改定について
- ⑨ 大会若手優秀発表賞表彰規程の改定について
- ⑩ 日本語教育政策と本学会とのかかわりに関するシンポジウムについて

〔報告事項〕

- ① 2022年度秋季大会概況について
- ② 2023年度春季大会発表募集テーマについて
- ③ 2023年度春季大会一般公開プログラムについて
- ④ 2023年度秋季大会一般公開プログラムについて

- ⑤ 学会誌『日本語教育』の英語名称の変更について
- ⑥ 2024 年度日本語教育国際研究大会について
- ⑦ 「ぷらさ da わかば」第 3 期センパイ公募「会員による推薦制」導入について
- ⑧ コロナ禍における大会・イベントに関する変更決定の手続き
- ⑨ 2022 年度代議員懇談会開催報告について
- ⑩ 宮地裕基金 2022-2024 年度実施要領について
- ⑪ 2022 年度中間事業報告と予算執行状況報告について
- ⑫ 賛助会員の集いについて
- ⑬ 2023 年度管理部門の新規計上経費について
- ⑭ 日本学術振興会科学研究費助成事業における経理状況等の調査及び意見交換について
- ⑮ 一般寄附金の受領報告について
- ⑯ 日本学術会議の声明に対する対応について

### 第 3 回理事会（3 月 26 日にオンラインにより開催）

#### 〔決議事項〕

- ① 第 11 回定時代議員総会議事日程案について
- ② 代表理事・業務執行理事の執行状況の報告について
- ③ 第二次中期計画中間評価および改定案について
- ④ 2023 年度重点項目・事業計画・予算について
- ⑤ 2023 年度理事・監事改選について
- ⑥ 次期委員の選出について
- ⑦ 宮地裕基金人材育成研修講座の応募選考について
- ⑧ 2022 年度各賞授賞候補について
- ⑨ 2023 年度 BJT ビジネス日本語能力テスト委託業務について
- ⑩ BJT ビジネス日本語能力テスト特別委員会設置運営規程の改定および委員候補について
- ⑪ 文化庁委託事業特別委員会設置運営規程の改定および委員候補について

#### 〔報告事項〕

- ① 今後の大会計画について
- ② 『日本語教育』185 号（2023 年 8 月 25 日刊行）の寄稿について
- ③ 『日本語教育』187 号（2024 年 4 月 25 日刊行）の特集について
- ④ 『日本語教育』投稿原稿のカテゴリー名変更について
- ⑤ 2023 年度春季大会一般公開プログラムについて
- ⑥ 令和 5 年度文化庁委託事業の申請について
- ⑦ 賛助会員の集いについて
- ⑧ 公開シンポジウム「日本語教育学会の社会的使命を再考する-学術的貢献と社会的役割-」について
- ⑨ 日本語教育学の構造化ワーキンググループからの報告書提出について
- ⑩ 本学会のコンプライアンスに関する報告について
- ⑪ 新ウェブサイト公開後の状況について
- ⑫ 言語系学会連合の事務局担当について
- ⑬ 樹形図ワークショップ企画について
- ⑭ 世界中の日本語教育関係者のためのオンライン交流会について

第1回臨時理事会（7月24日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 宮地裕基金取扱規程について
- ② 文化庁委託事業特別委員会設置運営規程の一部改定について
- ③ 宮地裕基金2022-2024年度（第2次中期計画期間）執行計画について
- ④ 学会賞・奨励賞・功労賞表彰規程の改定について
- ⑤ 『日本語教育』論文賞表彰規程の改定について
- ⑥ 2022年度春季大会大会若手優秀発表賞授賞候補者について

〔報告事項〕

- ① 新ウェブサイト構築ワーキンググループ進捗状況報告について
- ② 新規文化庁委託事業について
- ③ ウェブマガジン上の記事について
- ④ 内閣府による立入検査の結果について

第2回臨時理事会（8月26日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022年度秋季大会開催方針について

第3回臨時理事会（1月29日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 日本学術会議の声明に対する本学会の対応について
- ② 2022年度秋季大会大会若手優秀発表賞授賞候補者について

〔報告事項〕

- ① 令和5年度文化庁委託事業の申請について
- ② 日本語教育政策と本学会とのかかわりに関するシンポジウムについて
- ③ 宮地裕基金人材育成研修講座公募開始について
- ④ 第二次中期計画の中間評価について

第1回決議の省略（6月30日可決）

〔決議事項〕

- ① 広報委員会追加委員の承認について

第2回決議の省略（1月23日可決）

〔決議事項〕

- ① 第6回代議員選挙ブロック別代議員数の承認

ウ. 常任理事会の開催

第1回常任理事会（4月24日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2021年度第8回常任理事会議事録案について
- ② 2022年度第1回理事会議事日程案について
- ③ 代議員総会の開催について
- ④ 代表理事・業務執行理事の執行状況の報告について
- ⑤ 2021年度事業報告について

- ⑥ 2021 年度決算報告について
- ⑦ 研究倫理規程の改定について
- ⑧ 全委員会委員長会議設置運営要領の策定について
- ⑨ 定款の一部改定について
- ⑩ 理事選出手続きに関する規程の改定について
- ⑪ 大会若手優秀発表賞表彰規程の改定について
- ⑫ 『日本語教育』投稿要領の改定について
- ⑬ 2022 年度授賞候補選考委員会委員候補者の選出について
- ⑭ BJT ビジネス日本語能力テスト特別委員会委員候補の追加について
- ⑮ 後援名義使用申請について

〔報告事項〕

- ① 大会サポーターの募集について
- ② J-STAGE での学会誌『日本語教育』2008 年度以前の掲載論文公開について
- ③ 日本語教育学の構造化に関するワーキンググループについて
- ④ コンプライアンス研修について
- ⑤ 寄附金事業について

第 2 回常任理事会（6 月 26 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 度第 1 回常任理事会議事録案について
- ② 宮地裕基金取扱規程について
- ③ 2022 年度秋季大会開催方針について
- ④ 2022 年度秋季大会昼休み説明会使用申請について
- ⑤ 後援名義使用申請について

〔報告事項〕

- ① 2022 年度春季大会概況について
- ② 2022 年度春季大会一般公開プログラム概況について
- ③ 新ウェブサイトの改修進捗状況の報告について
- ④ 文化庁委託事業「令和 4 年度「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業」の受託申請について
- ⑤ 2022 年度第 1 回全委員会委員長会議について
- ⑥ 内閣府による立入検査の結果について
- ⑦ 第 1 回コンプライアンス研修開催報告について
- ⑧ 新 Google ドライブの設置について
- ⑨ 会員からの意見書について

第 3 回常任理事会（7 月 24 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 度第 2 回常任理事会議事録案について
- ② 2022-2023 年度実施の委員改選手続きについて
- ③ 文化庁委託事業特別委員会設置運営規程の一部改定について
- ④ 宮地裕基金 2022-2024 年度（第 2 次中期計画期間）執行計画について
- ⑤ 学会賞・奨励賞・功労賞表彰規程の改定について
- ⑥ 『日本語教育』論文賞表彰規程の改定について
- ⑦ 2022 年度春季大会大会若手優秀発表賞授賞候補者について

⑧ 後援名義使用申請について

〔報告事項〕

- ① 日本語教育グローバル人材奨励プログラムについて
- ② 文化庁受託特別委員会による事業の進捗状況について
- ③ チャレンジ支援事業イベント開催について
- ④ 2022 年度第 1 回全委員会委員長会議について
- ⑤ 新 Google ドライブの設置について
- ⑥ 会員からの意見書について
- ⑦ 大会予稿集の公開について
- ⑧ 社会的研究課題・社会的課題について
- ⑨ 学会関係者の日本語教育関連政策への関わりの公開について

第 4 回常任理事会（9 月 25 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 年度第 3 回常任理事会議事録案について
- ② 2022 年度代議員懇談会の開催について
- ③ 宮地裕基金 2022-2024 年度実施要領について
- ④ 2022-2023 年度実施の委員改選手続きの公募書類一式（種類等）について
- ⑤ 2022-2023 年度実施の委員公募を棄権する委員会について
- ⑥ 第 2 次中期計画の中間評価について
- ⑦ 2022 年度秋季大会大会若手優秀発表賞選考部会員の指名について
- ⑧ 大会予稿集の早期無料公開について
- ⑨ 2023 年度春季大会一般公開プログラムについて
- ⑩ 「ぷらさ da わかば」第 3 期センパイ公募「会員による推薦制」導入について
- ⑪ 2023 年度秋季大会一般公開プログラムについて
- ⑫ 後援名義使用申請について

〔報告事項〕

- ① 2023 年度春季大会発表募集テーマについて
- ② 2022 年度秋季大会一般公開プログラムについて
- ③ 新ウェブサイトについて
- ④ 2022 年度第 2 回全委員会委員長会議の開催予定について
- ⑤ 新 Google ドライブの設置について
- ⑥ コロナ禍における大会・イベントに関する変更決定手続き（申し合せ）について

第 5 回常任理事会（10 月 23 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 年度第 4 回常任理事会議事録案について
- ② 2022 年度代議員懇談会の開催要領について
- ③ 宮地裕基金 2022-2024 年度実施要領について
- ④ 2022-2023 年度実施の委員改選手続きの公募書類一式（公開版）について
- ⑤ 第二次中期計画の中間評価実施計画について
- ⑥ 本学会の英語名称変更に伴う学会誌の英語名称の変更について
- ⑦ 2023 年度春季大会一般公開プログラムについて

⑧ 学会関係者の日本語教育関連政策への関わりの公開について

〔報告事項〕

- ① 新ウェブサイト公開について
- ② オンラインストレージ（Google ドライブ）の準備について
- ③ 日本学術振興会科学研究費助成事業における経理状況等の調査及び意見交換について
- ④ 尚友倶楽部への表敬訪問について

第 6 回常任理事会（11 月 20 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 年度第 5 回常任理事会議事録案について
- ② 宮地裕基金 2022-2024 年度実施要領について
- ③ 2022-2023 年度代議員選挙・理事改選について
- ④ 賛助会員の集いについて
- ⑤ 2022 年度『日本語教育』論文賞選考部会員の承認について
- ⑥ 後援名義使用申請について

〔報告事項〕

- ① 2022 年度代議員懇談会シナリオについて
- ② 尚友倶楽部への表敬訪問（報告）について
- ③ 令和 4 年秋の叙勲について
- ④ 一般寄附金の受領報告について
- ⑤ 2023 年度管理部門の新規計上経費について
- ⑥ 令和 4 年度文化庁日本語教育大会について
- ⑦ 日本語教育政策と日本語教育学会とのかかわりに関するシンポジウムについて

第 7 回常任理事会（12 月 18 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 年度第 6 回常任理事会議事録案について
- ② 2022 年度第 2 回理事会議事日程案について
- ③ 謝金規程の改定について
- ④ 旅費規程の改定について
- ⑤ 2022-2023 年度代議員選挙管理委員および地域ブロック運営委員の選出について
- ⑥ 日本学術会議会員・連携会員の選考対象に関する情報提供について
- ⑦ 学会賞・奨励賞・功労賞表彰規程の改定について
- ⑧ 『日本語教育』論文賞表彰規程の改定について
- ⑨ 学会活動貢献賞表彰規程の改定について
- ⑩ 大会若手優秀発表賞表彰規程の改定について
- ⑪ 日本語教育政策と本学会とのかかわりに関するシンポジウムについて
- ⑫ 『日本語教育』投稿カテゴリー名称の見直しについて
- ⑬ 2023 年度春季大会一般公開プログラムにおける手話通訳の配置について

〔報告事項〕

- ① 常置委員会委員公募応募者数について
- ② 2022 年度秋季大会概況について

- ③ 2022 年度代議員懇談会開催報告について
- ④ 宮地裕基金 2022-2024 年度実施要領について
- ⑤ 2022 年度中間事業報告と予算執行状況報告について

第 8 回常任理事会（1 月 29 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 年度第 7 回常任理事会議事録案について
- ② 2023 年度事業計画・予算について
- ③ 2023 年度理事・監事改選について
- ④ 『日本語教育』投稿カテゴリ名称の見直しについて
- ⑤ ウェブサイト『日本語教育』全論文データ一覧への英語情報追加について
- ⑥ 2022 年度秋季大会大会若手優秀発表賞授賞候補者について
- ⑦ 後援名義使用申請について

〔報告事項〕

- ① 2023 年度春季大会説明会枠について
- ② 2023 年度秋季大会開催地について
- ③ 『日本語教育』185 号（2023 年 8 月 25 日刊行）の寄稿について
- ④ 2023 年度春季大会一般公開プログラムについて
- ⑤ 2023 年度日本語教育グローバル人材奨励プログラムの尚友倶楽部助成申請について
- ⑥ 常置委員会次期委員推薦候補者について
- ⑦ BJT ビジネス日本語能力テストの受託について
- ⑧ 令和 5 年度文化庁委託事業の申請について
- ⑨ 宮地裕基金人材育成研修講座公募開始について

第 9 回常任理事会（3 月 5 日にオンラインにより開催）

〔決議事項〕

- ① 2022 年度第 8 回常任理事会議事録案について
- ② 2022 年度第 3 回理事会議事日程案について
- ③ 第 11 回定時代議員総会議事日程案について
- ④ 代表理事・業務執行理事の執行状況の報告について
- ⑤ 第二次中期計画中間評価および改定案について
- ⑥ 2023 年度重点項目・事業計画・予算について
- ⑦ 次期理事・監事候補者の選出について
- ⑧ 宮地裕基金人材育成研修講座の応募選考について
- ⑨ 2023 年度 BJT ビジネス日本語能力テスト委託業務について
- ⑩ 文化庁委託事業特別委員会設置運営規程の改定および委員候補について
- ⑪ 2023 年度春季大会大会若手優秀発表賞部会員の指名について
- ⑫ 『日本語教育』投稿要領の改定について
- ⑬ 2022 年度各賞授賞候補について
- ⑭ 日本語教育政策と本学会とのかかわりに関するシンポジウムについて
- ⑮ 後援名義使用申請について

〔報告事項〕

- ① 賛助会員の集いについて
- ② 日本語教育学の構造化について

- (3) 公益法人としての手続きおよび体制の整備  
公益法人として求められる所要の報告とともに、体制の整備（関係規程を含む）を進めた。
- (4) 横断的事業の検討  
全委員長会議を3回開催した。

以上